


多様性から互いに学び合い

人間理解を深める

Learning Community づくり

私たちは学生から学びます
私たちは仲間・同僚から学びます
私たちは私たち自身から学びます
私たちは答えのない問題から学びます
私たちは結果から学びます
私たちはプロセスから学びます
私たちはサルから学びます 
私たちは異なる意見から学びます
私たちは多様性から学びます

深い人間理解を目指す学習共同体、それが心理人間学科です。

心理学、教育学、人間関係論を中心とした人間科学の知的、感性的理解を
学習共同体のかかわり合いの中で促進してきます。

私たちは深い人間理解を目指す共同体です

2010. 3. 15. 猿投温泉にて



この言葉は以下のエピソードを基にしています：霊長類のフィールド調査で知られる、ジェーン・グドール氏が初めてタンザニア奥地、ゴンベ動物保護区でチンパンジーの観察研究を行っていた時です。ある日、森の中で一頭のチンパンジーに遭遇し、そのあとを追うと、そのチンパンジーはグドール氏が来るのを待つかのように川のほとりに座っていました。逃げるそぶりも、襲ってくるそぶりも見せないの、至近距離まで近づき、すぐそばのココヤシを差し出すと、そのチンパンジーは彼女の手からココヤシを払い落とし、彼女の手をとったそうです。恐らく、何週間も自分達の群れを遠くから彼女が見つめていたことを、そのチンパンジーは知っていたのでしょう。まるで、「待っていたよ」とでもいうかのようなジェスチャーだったそうです。(参考：ジェーン・グドール、フィリップ・バーマン著「森の旅人」角川書店)